

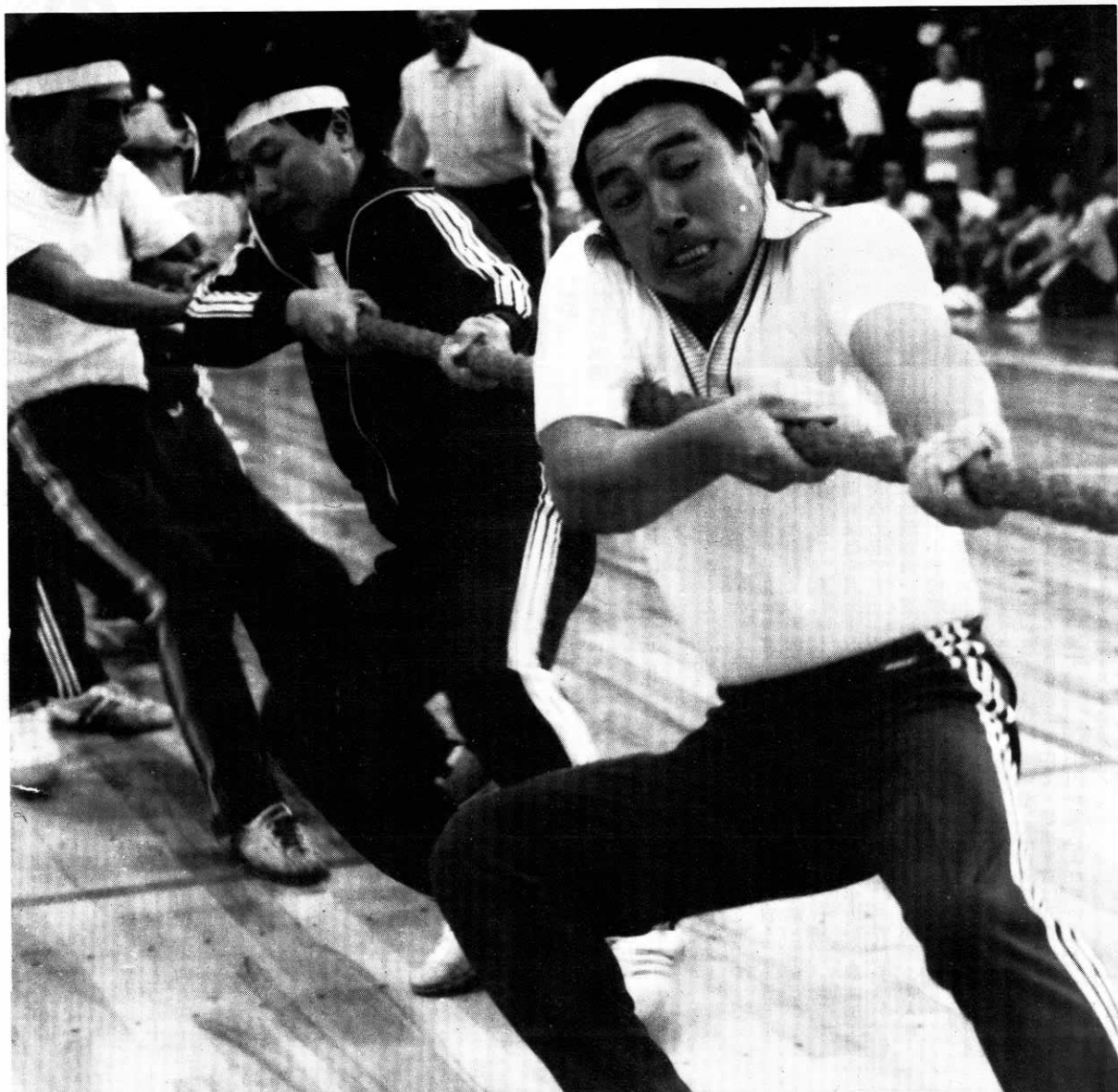
たかのす

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

7月31日現在	(前月比)
総人口 25,487人	(7人増)
男 12,479人	(6人増)
女 13,008人	(1人増)
世帯数 7,063世帯	(4世帯増)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



№.416

54・9・15

体力づくりの秋

庭ですず虫やまつ虫の声がきこえて秋のきたことを告げています。夏のあいだ猛暑にあてられ、食欲の落ちていた方も物がみなおいしくなっていて、食欲も盛んになってきますが、あまり食べすぎれば胃腸をこわします。——さらっとした快適な秋!! 自分の体にあった体力づくりをおすすめします。(写真は町民体育祭で)

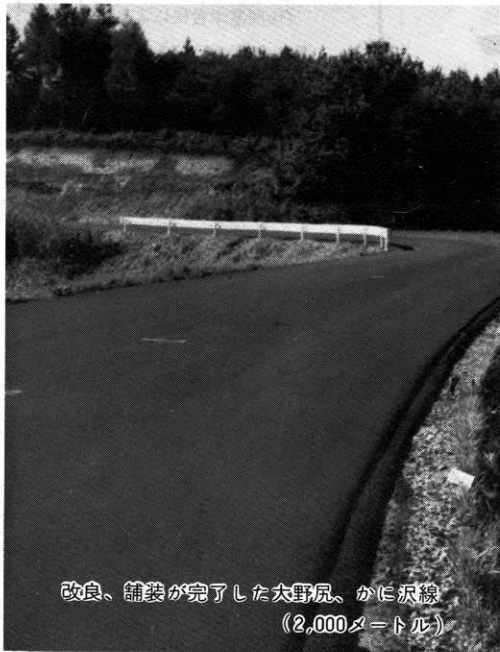
町道の改良・舗装すすむ

自動車通行可能道の 舗装率50%を超える

町では、社会資本の充実を図るため、道路の改良、舗装を重点事項の一つとしてすすめています。町道の内、自動車通行可能道の舗装率は50%を超えました。

町内の道路は、国道が二路線二万二千五百メートル、県道九路線五万八千五百九十七メートル、町道は二百九十六路線で二十二万八千五百五十メートル、

合計三百三十二路線三十一万九千二百一十四メートルとなっています。また、町道の内訳では自動車通行可能道が十九万二千四百四十メートル、



改良、舗装が完了した大野尻、かに沢線
(2,000メートル)

自動車通行不能が三万六千十メートル。

町では、このような状況をふまえて、幹線道路につながる生活道路を優先に、道路の改良舗装をすすめており、今年度も公共土木費だけで、道路改良工事に一億四千六百七十万円、舗装新設に一億二千六百三十万円を計上しております。この内、道路改良では既に十一件十二路線、延長二千二百九十九メートル、七千九百四十五万五千円で発注、黒沢馬屋沢、坊沢相善岱、七日市羽

立など七路線が完成しており、今後、坊沢・前山線・大堤・昭和線などが発注される予定になっています。

舗装新設は、大野尻、蟹沢線二千メートル、摩当・季岱線一千七百八十八メートル、坊沢・前山線一千四百四十一メートル、二十四路線九千六百三十五メートルを九千九百二十二万六千円で発注。既に十三件二十二路線が完成しておりますが、今後あらたに四路線程度発注される予定になっています。

なお、町道全体に占める舗装の割合は四十三・二%に、自動車通行可能道では五十一・二五%と、五割を超える舗装率となりました。

黒沢と明利又に 生活改善センター

十一月には完成

地域の生活改善や文化活動、さらにはコミュニティー活動の柱として活用する生活改善センターの建設が、黒沢と明利又の両部落ですすめられており、黒沢は十一月十日に、明利又は十月三十日にそれぞれ完成の予定です。

黒沢生活改善センターの建設場所は、旧黒沢小学校跡地で、センターは木造平家建百五十五・三三平方メートル。内部は五十九・六二平方メートルの集会室、二十三平方メートルの研修室のほか談話室、ホール、両便所、物入れなどからなっています。工事費は、本体工事が一千八十

五万円、内部施設の調理台、石油ストーブ、座テーブル、机などに百十八万八千円、座布団、消火器調理用具などに二十四万六千円で、総事業費は、一千二百二十八万四千円が見込まれています。

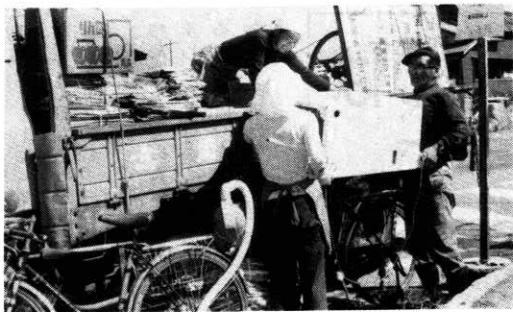
明利又生活改善センターの建設場所は、明利又羽立地内で、センターは木造平家建百十二・五七平方メートル。内部は研修室と集会室がそれぞれ二十・七〇平方メートル、農産加工室十三・二四平方メートル、農産加工貯蔵室二十・七〇平方メートルのほか、調理室、ホール、両便所、物入れなどからなっています。

工事費は、本体工事が七百六十五万円、内部施設六十七万二千元、座布団、調理用具などに十七万三千円で、総事業費は八百四十九万三千円が見込まれています。

町長日誌

8月16日～8月31日

16日	おはよう野球閉会式 交通対策特別委員会 沢口地区野球大会
17日	県警ヘリコプターで交通 事情を視察
18日	歩行者天国テープカット 町内小学校水泳記録会 おはよう野球北秋地区大 会開会式
20日	全町婦人の集い 青山荘盆踊り
21日	市町村職員県北地区野球 大会開会式
24日	郡市小学校水泳大会 町内工事現場視察
25日	第十七回町民体育祭
26日	地方行政改善面接調査
27日	森吉町外四ヶ町村病院組 合管理者会議、同議会
28日	町長と語る会 堂ヶ岱 の記念日 秋田市
29日	「社会福祉を高める県民 のつどい」大館北秋田地 区大会
30日	町内工事現場視察
31日	
議 会 日 誌	
8月16日～8月31日	
16日	交通対策特別委員会
22日	全県議長研修会 岩城町
23・24日	建設水道委員会
27日	地方行政改善面接調査
29日	県の記念日 秋田市



＝物を大切にする運動＝

婦人会が主体となり 再資源回収を実施

町では、県の新生活協議会から「物を大切にする運動モデル地域」に指定を受けたことから、婦人会、廃品回収業者とその実施方法等について協議を続けていましたが、九月第三日曜日を皮切りに、旧鷹巣地区（南鷹巣を含む）を対象に婦人会が廃品回収を実施することになりました。

「物を大切にする運動モデル指定」は、三カ年継続事業で、婦人会が事業主体となり廃品回収を行うもので、県新生協からは年額二十万円、町からも二十万円、計四十万円が三カ年間婦人会に助成されます。

婦人会では、チラシ等を作成、随時住民にPRし、地域内の再資源を取りまとめ、廃品回収業者に一定額で引き取ってもらうことにしており、町では、この運動を通して物を大切にする運動の輪を広げながら、再生资源回収を定着させていくことにしております。

なお、回収は鷹巣地区（南鷹巣を含む）だけで、毎月一回不燃ごみ回収日の前日に行います。

回収する資源は次のとおりですので、よろしくご協力をお願いいたします。

【古紙類】新聞紙、雑誌、ダンボール、チラシ

【せいの類】下着、シャツ、フトンカバー、Yシャツ、フトン地、着物、子供衣類等

【金属類】ミルクカン、ジュースカン、トタン板などブリキや自転車、自動車、ミシン、アイロン、ストーブなど鉄、やかんなべなどのアルミ、ナベ、電線

などの銅のほか水道じや口、コンセント、金具など

【空ビン】酒、しょう油、ビール、コーラ、サイダー、ジュース、カルピスのビン

『ごみ排出についてお願い』

ビニール等は

燃えないごみに

今年の十二月一日から法律の改正により、ごみ焼却場で焼却された排煙の中に含有される塩化水素ガスを、基準以下（四三〇PPM）に抑えなければならぬことになりました。

この塩化水素ガスの発生源は、主として塩化ビニール、プラスチック等が主因といわれております。そこで、これまでは塩化ビニール系のごみは、「燃えないごみ」として排出されてきましたが、以上のような事情から、今後は塩化ビニール系のごみは「燃えないごみ」として処理しなければなりませんので、「燃えないごみの日」に出すようお願いいたします。

「燃えるごみから除いてもらう塩化ビニール系のもの」ビニール管、ポリバケツ類、炊事用ポリ用器類、マレモン等の容器類、ヤクルト等飲料容器、プラスチックのおもちゃ、ビニールパイプ、ホース類、ポリ製ジョロ、農業用肥料袋及びビニールなど。

町 職 員 資 格 試 験

町職員採用資格試験を行います。受験希望者は、秋田県町村職員（上級・初級）採用統一試験要領により、受験申し込みください。

〔上 級 職 員〕

- 1、採用予定人員 一般行政事務職員 若干名
- 2、受験資格
 - (1)学校教育法による大学を昭和52年3月以降に卒業した者又は昭和55年3月31日までに卒業見込みの者
 - (2)学校教育法による短期大学及び高等専門学校を昭和52年3月以前に卒業した者で、昭和25年4月2日以降に生まれた者
 - (3)昭和25年4月2日から昭和31年4月1日までに生まれた者
- 3、試験日（一次） 10月7日(日) 二次試験は一次試験合格者について通知します。
- 4、試験場 秋田県自治会館（県庁うら）
- 5、申込受付 9月13日(内)から9月25日(日)まで「勤務時間内」に役場総務課庶務係（二階）に申し込みください。

※ 住所要件（上級・初級とも）

- (1)鷹巣町に住所（住民登録）を有している者
- (2)町外に就職または就学のため、鷹巣町から転出した者で、世帯主（両親等）が鷹巣町に住所（住民登録）を有している者

※ 受験申込用紙及びくわしくは役場総務課庶務係に問い合わせください。（電話2-1111）

〔初 級 職 員〕

- 1、採用予定人員 一般行政事務職員 若干名
- 2、受験資格 昭和29年4月2日から昭和37年4月1日までに生まれた者
ただし、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した者又は昭和55年3月31日までに卒業見込みの者は受験できません。
- 3、試験日（一次） 11月4日(日) 二次試験は一次試験合格者について通知します。
- 4、試験場 秋田県立秋田工業高等学校
（秋田市保戸野金砂町）
- 5、申込受付 10月1日(用)から10月13日(土)までの「勤務時間内」に役場総務課庶務係（二階）に申し込みください。

九月十五日は「敬老の日」。また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。

お年寄りは、これまで永年にわたって社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝いするとともに、今後も今日までつちかてきた知識と経験を社会

"生きがい"づくりは みんなの手で

老人福祉週間

に役立てていただきたいものです。こうしたことが、お年寄りの生きがいになると同時に、世代を越えた新しいコミュニケーションの場にもなるのではないのでしょうか。

老人に生きがいのある社会を共に築いていきたいものです。

家庭での役割分担を決める

お年寄りに生きがいを

—そのおばあちゃんは、毎朝掃除をすることが、家庭の中で自分の役割と考え、何よりの生きがいと感じていました。

ところが、ある日お嫁さんが「そんなこと、しなくていいの」と、掃除機を取り上げてしまったその日から、おばあちゃんは強度の便秘に悩まされ、とうとう寝こんでしまいました。それが、また掃除をさせてもらうようになったら、ウソのように便秘は治ったというのです。

—ある農家のできごと。農繁期でネコの手も借りたいほどの忙しいとき、その家の老人は何かの

役に立ちたいと田んぼに出ていったのですが、「邪魔になるから、引っ込んでいて」といわれ、明るく朝、自殺を試みたということでした。

「何もしないで、ジツとしていればいいのよ」という言葉ぐらゐ、お年寄りにとって残酷な言葉はありません。

のけ者にされないこと、つまり自分は役に立つ存在であるという自信と、自分のことは自分でやれるという気負いが、日々お年寄りの心の張り、生きるバネになっているのです。

家庭では、お年寄りの役割分担

をみんなで考えましょう。お年寄りは自分の役割を通して、家族との接点を持ち、生きがいを見いだしていくのです。

かけ足でやってくる

高齢者社会

現在、わが国の六十歳以上のお年寄りは約千四百万人で、総人口の十二％を占めています。

つまり、百人のうち十二人がお年寄りというわけですが、これが二十六年後の昭和八十年には、人口百人当たり二十人を超えると予測されています。国民全体の二割が、六十歳以上のお年寄りということになるのです。

わが国の場合「高齢者社会」へのテンポがいかに速いか、諸外国と比較すると一目りよう然です。

たとえば、国民全体に占める六十歳以上の人々の割合が、八％から十八％に増えるまでの期間を比べると、フランス一七七年、スウェーデン一〇三年、イギリス五六年、ドイツ五四年、日本四〇年。

つまり、フランスが百七十七年かかっているところを、わが国は四十年で到達してしまうのです。

それは昭和七十年と予測されていますが、高齢者社会は文字通り「かけ足」でやってきます。

ところで、昭和七十年に六十歳になる人、つまりお年寄りの仲間入りをされる方は、いま働き盛りの四十四歳です。

お年寄りの福祉を進め、生きがいのある社会を築くことは、世代を越えた連帯の中で、わたしたち一人一人が、力を合わせて解決していかなければならない課題といえましょう。



九月十五日は「敬老の日」です。

お年寄りにとって、孫ほどいとおしく、かわいものはありません。老後の楽しみの一つは、孫の世話をし、成長を見守ることです。このようなお年寄りの心理を、周囲は十分くみとって

あげることが大切です。

「昔と今は時代が違うから、よけいな口出しはしないで」とばかり、育児にしても、しつけにしても、いっさい口出しをさせないというのは、考えもので

お年寄りと孫の教育

す。確かに、退屈のぎにネコかわいがりするような態度は、好ましくありません。

また、お年寄りがかまひすぎ、甘やかしてしまいますと、

子どもはわがままになり、時には反抗的になって乱暴をはたらくような性格になることがあるといわれます。

このような場合は、親がいくら子どもを厳しくしつけようと

しても、空回りに終わってしまふことが多いでしょう。そうならないために、母親は「けじめをつけた孫のしつけ」をしつてもらうよう、お年寄りとしつて話し合うことが大切です。

つまり、育児、しつけは親の責任であると考え、お年寄りに家庭教育の一端としてのよき協力者、よきアドバイザーになつてもらう—こういう「役割分担」について話し合ってみるのもいいでしょう。

おじいさん、おばあさんは、文字通りの知恵と経験を家庭教育に生かすことは、子どもの将来に大きなプラスになるでしょう。

また、そうした親子三代にわたる家庭での触れ合いが、お年寄り自身の生きがいにもつながっていくのではないのでしょうか。



成田 茂助さん



照内 忠吉さん



三沢 儀助さん

長寿お祝い 申しあげます

＝70歳以上の方は1,670人＝

九月十五日は「敬老の日」です。
町では、この日を中心に、各地区ごとに敬老式を開き長寿をお祝いします。
ところで、わが町の七十歳以上の敬老者は、男七百十一人、女九百五十九人、計一千六百七十人となっています。
この内訳は、七十歳から七十九歳までが一千三百三十一人、八十歳から八十九歳までが三百二十一人、九十歳以上が十八人となっています。
また、地区別の七十歳以上の方は、
▽鷹巣 五百三十三人（男二百二十九人、女二百七十四人）
▽栗 百三十三人（男四十五人、女五十八人）
▽綴子 三百二十九人（男百四十八人、女百八十一人）
▽坊沢 百六

十人（男六十三人、女九十七人）
▽七座 百十九人（男四十七人、女七十二人）
▽沢口 百八十七人（男七十七人、女百十人）
▽七日市 百九十八人（男七十六人、女百二十二人）
▽青山荘 七十一人（男二十六人、女四十五人）
で、最年長者は、青山荘の田中トキさん九十五歳です。
町では、敬老式の当日、七十五歳から七十九歳までの方にバスタオル、八十歳以上の方に三千円の祝金とタオルセット、八十九歳の方には銀盃を贈り、それぞれ長寿をお祝いします。
なお、当町の男女別二十名の長寿者は、下記表のとおりです。



田中 トキさん



畠山 サヨさん



神成 リエさん

昭和54年男女別長寿者ベスト20

(年齢 54年9月5日現在)

地 名	生年月日	年 齢	住 所	順 位	氏 名	生年月日	年 齢	住 所
成 田 茂 助	明治18. 12. 22	93	相 善 町	1	田 中 ト キ	明治17. 4. 2	95	青 山 荘
照 内 忠 吉	20. 1. 10	92	向 黒 沢	2	畠 山 サ ヨ	19. 7. 22	93	脇 神
三 沢 儀 助	21. 8. 25	91	田 中	3	神 成 リ エ	19. 11. 13	92	青 山 荘
佐 藤 武右エ門	21. 10. 26	90	坊 沢 大 町	4	岩 谷 ツ ヨ	20. 4. 20	92	摩 当
佐 藤 金 吉	21. 12. 5	90	青 山 荘	5	出 川 テ ン	20. 6. 4	92	糠 沢
米 沢 信 喜	23. 10. 15	88	糠 沢	6	金 ノ フ	20. 12. 20	91	青 山 荘
小 貫 七 治	24. 1. 25	88	駅 前	7	左近司 キ ヨ	21. 1. 3	91	末 広 町
桜 庭 弥 一	24. 3. 7	88	舟 見 町	8	佐 藤 ク ラ	21. 2. 27	91	小 森
畠 山 長一郎	24. 4. 29	88	与 助 岱	9	河 田 キ ヨ	21. 9. 17	90	太 平 町
高 橋 善 蔵	24. 10. 3	87	綴 子 上 町	10	松 前 キ ヨ	21. 9. 20	90	七 日 市
松 尾 利一郎	24. 11. 5	87	太 田	11	近 藤 ト ヨ	21. 12. 1	90	小 森
米 田 米太郎	25. 2. 16	87	青 山 荘	12	本 城 サ ン	22. 1. 25	90	藤 株
佐 藤 慶次郎	25. 3. 5	87	青 山 荘	13	戸 沢 ミ ネ	22. 8. 19	90	前 山
石 川 多 助	25. 3. 5	87	伊 勢 町	14	沢 田 ミ サ	22. 9. 25	89	前 山
沢 田 昌次郎	25. 5. 23	87	末 広 町	15	長谷川 ア サ	22. 12. 12	89	太 田
花 田 松三郎	25. 8. 20	87	脇 神	16	堀 部 セ ツ	23. 1. 7	89	葛 黒
谷地田 一 祐	25. 11. 12	86	吉 野	17	武 内 ス エ	23. 4. 18	89	田 子 ケ 沢
村 井 松太郎	25. 12. 4	86	北 新 町	18	中 林 リ エ	23. 4. 25	89	小 森
桜 庭 嘉 吉	26. 2. 1	86	蟹 沢	19	藤 田 サ ツ	23. 9. 2	89	前 山
折 原 喜一郎	26. 2. 20	86	三 吉 町	20	岩 本 ト ラ	23. 9. 28	88	岩 脇

日中友好秋田県農業青年の翼 訪中二週間の報告

北京市内を見学して

大 堤 三 沢 恒 久

最初の訪問都市北京は、七、八月が雨期とのことで、北京空港は雨でした。いかにも長い歴史を感じる都市で、並木の緑が美しく、建物も広い敷地の中にゆったりとしていて、人口が多いとはいいい、雄大な北京市内というのが私の第一印象でした。

のにまず驚き、ロバ、馬、あるいは中国産トラクターで、農産物やいろいろな資料を近郊から運ぶ姿には活気が見られましたが、乗物が少ない中国で、トラクターやトラクターの荷台に乗り働いている姿は、いかにも現在の中国を表わしている様でした。天安門広場、人民大会堂、故宮、天壇公園等を見

八月十五日から二週間にわたって中国各地を回る「日中友好秋田県農業青年の翼」に、当町から役場農政係長・長岐修治さん(43)大堤・三沢恒久さん(31)坊沢・佐藤 司さん(19)今泉・仲谷美智子さん(19)高森岱・畠山雅子さん(19)の五人が参加、中国の生活や文化など各分野に大いに見聞を広めてきましたので、それぞれの参加者から寄せられた感想文を二回にわたり紹介します。

学しましたが、毛沢東記念堂は真新しい大理石で造られており、偉大な指導者を記念するにふさわしい建物で、水晶と紅旗に包まれた毛主席の遺体を目の前にして一瞬、体の引きしめる思いがしました。

悩みは、人口問題とのこと。そのため、産次制限にも協力し、子ども一人だけの家庭が最も多く、多くても二人とのことでした。都会を問わず、地方でも人の多いのが目につき、日本の二十三倍の国土を持つ国ながら、八億とも九億ともいわれる人口問題を解決しないことには、中国の近代化の大きな障害に、また発展のさまたげになるのではないかと気がしました。

日本と中国も新しい局面を迎え、今後ますます中国人とも接する機会が増えると思いますが、日本人を何か旧友でも迎えるがごとく、親しみをもった中国人に、我々は誠意をもつて応えていく必要があるのではないかと思います。近代化に向かう中国、日本人も見習う必要があるのではないかと、それにしても、今中国で一番の

大寨生産大隊を見学して

坊 沢 佐 藤 司

大寨は山西省東部の昔陽県、太行山脈の支脈である虎頭山の山裾にある世帯数八十三、人口わずか四百三十人、うち労働人口百五十人の小村である。大寨の自然環境は

ひどく、右も左も山に囲まれ石ころだらけの土地で、雨が降れば作物は流され、降らなければ干害という状態だった。しかし、大寨生産大隊隊長であり、現副総理で

ある陳永貴をリーダーとし貧農たちは、天候に左右されることのない安定した農地を作るため「農地造成十カ年計画」をたて、土木機械もろくにもたない彼らは、二本の手を元に、自力更生、刻苦奮闘の精神で山を切り開き、岩を砕き、山の斜面を利用して石垣を積み重ねて段々畑を作った。さらにそれに沿って灌溉水路、アーチ型に石を積み上げて作ったダム、貯水池、山の頂上には、溜池等、作物もトウモロコシ、コーリヤン、小麦、米に変え、一毛作を二毛作にし、従来の収穫量を大きく上まわる成果をあげていた。またトウモロコシの間には、ダイズが植えられており、別々に植えるよりも、収量が多いということだそう。しかし、収穫の時など機械が使えず手間がかかるため、耕作方法を変えなければならなかった。

現在、この大寨生産大隊には、トラクター、田植機等、合わせて二百三十台あり、かなり機械化が目立ってきている。この機械操作整備は、主に青年たちの役割であるとのことだった。またこの牧畜場では、羊、牛、鹿、鶏、蜜蜂、蚕等を飼っていた。鹿の角は、一年に二度、漢方薬を作るため切り取られ、室内に干されてあった。この牧畜場の多角経営は、毛主席の教えに基づいてやっているとのことだった。

福祉の面では、この地区には合作医療制度というものがあり、一年に一人当たり約三円(一日の収入は約一元八十銭である)払うと



三沢恒久 佐藤 司 長岐修治
畠山雅子 仲谷美智子

あとは無料で診察してもらえると
いうことであつた。また学校は、
教科書だけ負担し、学費は一斉無
料である。その他に託児所、共同
裁縫所、運動場など公共設備も
完備されていた。解放前まで山腹
に穴を堀った窟洞に住んでいた農
民は、今は全んど石造りの洞窟か

天山新村を訪問して

高森岱 畠山雅子

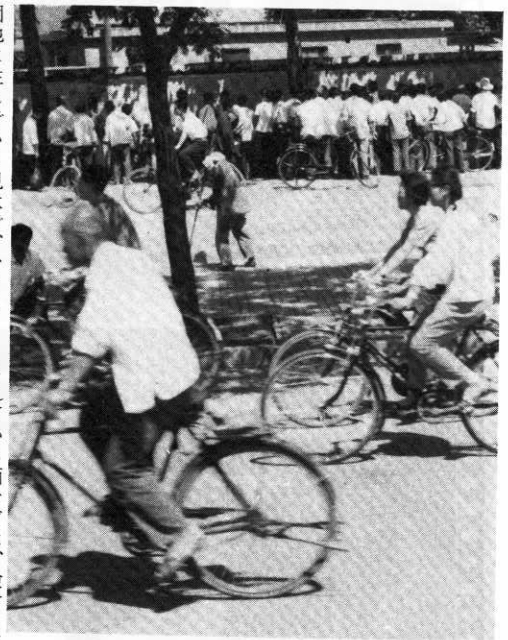
上海市内には「天山新村」とい
う労働者住宅団地がありました。
人口六万一千人をかかえているた
め、小・中学校・託児所・病院・
合作医療所・公園・プールの完全
な設備がなされている団地でした。
ここで私は、託児所・病院・労働者
宅を訪問することが出来ました。

たつ様でした。また医療衛生活動
の特徴だと思ひますが、はだしの
医者」という人々がおり、彼らは
病氣治療、衛生について短期間訓
練を受けた公社員で、自力更生を
モットーとする中国では、体が資本
の中国農民の医療衛生の改善に大
きな力となつて働いていました。

特に印象深かつたのが託児所訪
問です。かわい手を差し出し、
人懐っこい目を向けて迎えてくれ
た純真無垢な子供たちの姿です。
その子供たちによる歌や踊りの披
露による熱烈な歓迎を受けてき
ました。日本の園児はこんなに立
派に出来るでしょうか。中国独特
の徹底した思想教育とは、礼義作
法とは、園児にまで行き届かせる
ことが出来るものでしょうか……
想像以上の教育に感心と驚きの繰
り返しでした。

息子、娘が年頃なので、結婚の際
に何か買つてやりたいという親心
からの様で、胸をうたれました。
残りはほとんど娯楽費とされ、日
曜日は家族一緒にショッピング、
映画、外食を楽しんでおり、こ
の主人が「働く事は大切です。だ
が娯楽こそ一週間の労働のエネル
ギー源だ」と力強く語つてくださ
いました。同感ではあるが、一人
当り十五平方メートルという狭い

瓦ぶきレンガ造りの家に住んでお
り、社員的生活向上がうかがえた。
大衆を見学して強く感じたこと
は、彼ら農民達の農業に対する
真剣さと、どんな自然環境、土地
条件にも屈しない精神と忍耐力に
今後の自分の教訓を見つけたよう
に思う。



自転車交通の主流（北京市内で）

農業科学学院を訪問して

今 泉 仲 谷 美智子

南京の夏は蒸し暑く、最高気温
が四十度も越える時があるという。
私達が訪問した時も暑くて、汗が
絶えず流れていた。しかし、街路
樹のプラタナスがとても見事で、
その中をバスで通ると、とてもロ
マンチックに思えたりした。

よい態度で接してくれ、やはり日
本では考えられないことだと思っ
た。
南京市内よりバスで20分の所に
ある江蘇省農業科学学院へ見学に
行った。ここは試験農地面積は八
十haで、この中で農業に従事して
いる人は三百名だった。主に水稻、
果樹、畜牧、そ菜でたがいろいろ
な試験がなされていた。
水稻の場合、十種類もの品種を

植えており、結講收穫率は良いと
いうことだ。五月二十五日に
種まき、六月二十五日に田植え、
十月頃收穫だということだ。この
地方は、一毛作の稲刈と二毛作の
田植えが、同時になることがあ
りまななうで、農繁期、農閑期の
区別はつくだらうかと考えた
りした。

この試験場で今、力を入れて
いるのは、暗渠の徹底、揚子江か
らの水路を引く作業、山水を防ぐ
ための整備、灌漑用水路の整備な
ど、農地整備に重点を置いていた。
レンガ造りの豚舎内にしてみても、
一つ一つ豚が住みやすいように配
慮しているのが目についた。どこ
へ行ったも施設整備は良くなされ
ていたように思う。
水稻、果樹、畜牧、そ菜と、分
れて行われた座談会は、どの班も
積極的に関問、応答が繰り返され
ていた。私が参加したそ菜では、
現在栽培されている作物の種類、
病害虫、薬剤散布など、細かいと
ころまで質問していた。今後江蘇
省元並科学学院では、ビニールハ
ウス栽培を目標としているそうだが、
やはりコストが高いということだ
で、まだ先の話になるということだ
た。中国は、資源も豊富だし、立
地条件など、あらゆる面で日本よ
り恵れているため、今後の中国の
農業は大いに期待できるだろうと
思った。

今回の中国訪問では、何よりも
国境を越えた友情を深められたこ
とが、一番の感激であつた。また、
今、住んでいる自分の国の住みや
すが強く感じられた。



第17回町民体育祭

体育館で フイルド種目を 競う...

第十七回町民体育祭は、八月二十六日行われましたが、あいにくの雨のため会場を鷹巣体育館に移し、フイルド競技を中心に繰り広げられましたが、会場にはおよそ一千五百人が詰めかけ、にぎやかな大会でした。

今年は、鷹巣グラウンドを全天候型陸上競技場にする工事のため、農林高校グラウンドを会場に行われる予定でしたが、前夜から降り続いた雨のため、体育館に会場を移し行われたものです。

このため採点はせず、総合優勝旗や各競技入賞カップ、たては来年度まで大会本部おあずけとなりました。

開会式では、三連勝を続けている沢口地区から優勝旗が返還されたあと、長岐兼雄さん(七日市)が力強く選手宣誓。続いて五十三

年度に各種スポーツに活躍した選手をたたえる「スポーツ栄光賞」の授与がありました。

競技は午前十時、高齢者の血圧リレー(風船割り)で始まり、むかでリレー、騎馬リレー、綱引きなど行われ、最後は婦人会の「交通安全」と「きりたんぼ節」の踊りでフィナーレを飾り、午後一時三十分閉会しました。

各種目五位までの入賞は次のとおりでした。

- 〔むかでリレー〕①栄 ②七日市 ③綴子 ④鷹巣 ⑤坊沢
- 〔綱引き〕①坊沢 ②沢口 ③栄 ④綴子 ⑤鷹巣 ⑥七日市
- 〔ポールサンドリレー〕①坊沢 ②七日市 ③綴子 ④栄 ⑤坊沢
- 〔ボートリレー〕①坊沢 ②七日市



長岐さんの選手宣誓



婦人会ボートリレー



婦人会マヌゲーム



坊沢地区の応援

スポーツ栄光賞

- 〔三人四脚〕①栄 ②七座 ③七日市 ④鷹巣 ⑤沢口
- 〔騎馬リレー〕①鷹巣 ②七日市 ③七座 ④坊沢 ⑤栄
- 〔小学校男子リレー〕①鷹巣 ②栄 ③綴子 ④沢口 ⑤坊沢
- 〔小学校女子リレー〕①鷹巣 ②沢口 ③坊沢 ④綴子 ⑤栄
- 〔応援賞〕①坊沢 ②鷹巣 ③栄
- 〔参加賞〕①沢口 ②七座 ③綴子
- 〔マナー賞〕①七日市

- 七選手が決まり、町民体育祭の開会式で表彰を受けました。
- ▽陸上競技協会女子リレー―県民スポーツ大会四百リレー優勝
- ▽庭球クラブ―県民スポーツ大会優勝
- ▽遠藤昭夫―県民体育大会と全県総合バドミントン大会のダブルスで優勝
- ▽神成健一―県民体育大会軟式庭球一般男子の部で優勝
- ▽成田勇美子―鷹巣杯全県軟式庭球一般女子の部優勝
- ▽津谷徳男―県民スポーツ大会男子三十代砲丸投優勝
- ▽長崎清子―同女子四十代砲丸投優勝
- ▽花田ミツ子―同女子三十代砲丸投優勝
- ▽熊谷京子―同女子二十代二百リレー優勝

子供とお年寄りを守ろう

秋の全国交通安全運動

11月9月21日～9月30日

今年も九月二十一日から三十日までの十日間、▽子供と老人の交通事故防止、▽自転車および原動機付き自転車の安全利用の促進、▽安全運転の確保とシートベルト着用・推進の三項目を重点テーマに、国民総ぐるみで秋の全国交通安全運動が行われます。

今年に入って交通事故で亡くなった方は、六月末日で三千九百二十三人(全国)。昨年の同じ時期に比べて、二百十二人(五・一%)減っていますが、交通事故の発生件数および負傷者の数は、逆に増えているのが特徴です。

また、亡くなった方では、相変わらず子供とお年寄りが多く、原動機付き自転車の事故による死者も含めて、道路交通の上で「弱い立場」にある人々の犠牲が目立っています。

こうした死亡事故の原因をドライバーの側から見ると「スピード違反」をトップに「わき見運転」「酒酔い運転」と続き、この傾向はここ数年まったく変わっていません。このようなスピードへのなれや、ちよつとした油断などドライバーとしての基本的事柄をきちんと実践してこそ、「事故のない明るい社会」への第一歩といえるでしょう。

原付き自転車の死亡事故が増加

全身で風を切つて走る——この快適さはバイクならではのものです。

なかでも、50CC以下の原動機付き自転車の人気は高く、保有台数も全国で約七百万台と全バイクの七割以上を占め、最近では女性ドライバーの増加が目立ちます。ところが、こうした「バイク人

気」とともに増えているのが交通事故です。交通事故全体の死者数は、昭和四十五年をピークに減ってきていますが、原動機付き自転車による死者数だけは、毎年わずかずながら増え続けています。原動機付き自転車は、女性も手軽に乗れる半面、四輪車と違って全身が常に外部にさらされています。

すので、ひとたび事故を起こすと取り返しのつかない事態を招くことが多いのです。

原動機付き自転車を利用しているみなさん、運転には次のような点を十分注意しましょう。

▽交差点では一時停止を

事故の約三割は、交差点での出会いがしらに起きています。いったん停止して左右をよく

確かめてから、渡りましょう。

▽法定速度を守ろう

原動機付き自転車は、時速三十。以上で走つてはいけません。ヘルメットをかぶろう

自動二輪による死亡事故の七十二%は、頭部損傷です。

▽ほかの車から見えやすいところを走ろう。

車体が小さいために、大型車

綴子でクマを射止める

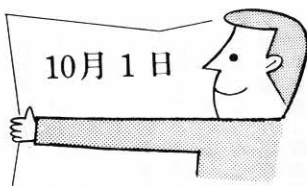
田子ケ沢で子連れクマ

キノコ採りは注意を

八月中旬から綴子地区下町の豚舎や小田、田子ケ沢、松原のトウモロコシ畑などを荒し回り、さては民家の近くまで出没するなど地域住民の不安を募らせていたクマを、八月二十九日早朝、町のハンターが射止めました。

このクマ、八月十五日頃から出没、トウモロコシ畑などを荒したこと、二回ほど町の猟友会の

の運転席からは「死角」に入りやすいので、注意しましょう。▽点検整備を忘れずに車輪、ブレーキ、灯火の三点は、いつも点検整備をお忘れなく。



昭和54年

就業構造基本調査

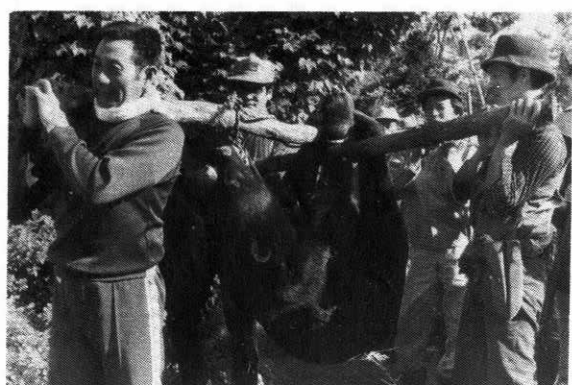
総理府統計局では、十月一日現在で九回目の就業構造基本調査を

実施します。

この調査は、全国を代表するようを選び出された地域(調査区)から、調査対象となる世帯を選定するという統計的手法によって選ばれた約三十五万世帯を対象として実施されます。

この結果は、政府の雇用・失業対策をはじめ、各種の行政施策立案のための基礎資料となるものです。都道府県知事から任命された調査員が、九月下旬に調査対象となった世帯をお訪ねします。ご協力をお願いします。

なお、記入していただいたことがらを他に漏らしたり、統計を作る目的以外に使うことは絶対ありませんので、正確にありのままをお答えくださるようお願いいたします。



公民館運営審議委員会



帯状に細長いこの町は、南部、中央、北部と三つの小学校区に大きく分けられ、公民館は二十二の

組織的な部落自治活動

その企画は分館長（各部落自治会長）と町長部局各課長を主役とする「町づくりこん談会」により地域の課題にとりくむようになっている。そのため、行事のもちかた、予算の盛り方に無駄がなく整然としている。

公民館長と職員はわれわれを迎え「人口九千四百人のこの町で、かつては千五百人も出稼ぎに出るという貧乏村であったが、干拓で耕地が増え恵まれた町になりました」と、つぎのように説明された。この町の社会教育は、町長を先頭にする生涯教育推進体制で統轄され、公民館活動によって実践されるというしくみになっている。

公民館分館長と本館職員、九人は八月七日、マイクロボスで先進地視察のため、南秋田郡若見町を訪れた。男鹿半島と八郎潟残存湖の間に細長く広がるこの町の中心地を見つめるにまであったが、ようやく約束の時間にまにあった。

町づくりこん談会

県と国のコミュニティの指定を受け、高く評価されているこの町は堂々たる「コミュニティセンター」を拠点に着実な社会教育の歩みをつづけていた。

公民館・若見町視察記

結婚披露宴は 三千円会費で八割が実施

分館（各集落）で運営している。一様に分館長は部落自治会長、主事は部落役員の中から出て、総務、産業、社会……などの部を置いている。運動会、スポーツ活動、生活合理化運動、青少年健全育成等々、婦人、青年層の主導で展開されている。

人数がふえるのが問題

結婚披露宴は三千円会費で、どんな金持でも名士でも公民館でやっている（残りの二割は秋田市で三千円というのは、招待された人の飲み食い分と引き出物の実費で町の業者がよく協力してくれている。それ以外のはみ出し分は新郎新婦の両者が負担する）。余興以外のことは公民館で世話してくれようので実行委員会は要らないということで、昭和三十五年以来の実施であるが最近では人数が百人、二百人と多くなり問題である。とのことであった。

青年の活動を大切に

建物を一巡した。大集会場兼体育館、幼児遊戯室、小会議室、視聴覚室など羨しかった。中でも青年会活動のために常時自由に使える部屋があり、その日も数人集まっている。いろいろ活動のための話し合いと仕事をしていた。

午後一時から五時過ぎまで、延々と話しがつかない研修であった。「よく視察団が来るが、こんなまじめなグループははじめてだ。」と逆に感謝されて外に出た。

（公民館長 長崎久）

部落訪問



岩 いわ

脇 わき

国道一〇五号線を米内沢に向って走り、七日市を過ぎると小猿部川の橋があり、橋を渡るとまもなく大野台、吉野に登る坂道にさしかかる。その時左側に見えるのが岩脇部落四十八戸である。ここから一・五軒程上流で川は二つに分れ、品類川流域の吉ヶ沢下舟木方面と、小猿部川流域の葛黒・明利又方面の沢々になる。そして、ここは品類川流域に入る玄関口となっている。

岩本喜代治さん（前部落自治会長）を訪ねこの部落の由来を聞いた。「いつの頃からこの部落ができたものかは、よくわからないが、岩本家は関ヶ原の戦いに敗れてこの方面に落ちてきたと聞いている。」といい、大要つぎのようなことを話された。

久留島家、九島家は阿仁の方から、千葉家は横瀬部落の分家である。はじめこの部落はもともと川上にあつたが、狼が出るというので、下流の現在田圃になつてゐる所に移った。しかし度重なる水害のため現在地に移ってきた。元の位置には「上屋敷」



珍しいことに「若勢団」が今に続き、大野台の貯水池に桜を植えるなど奉仕活動をしている。青年の朝野球、若妻のバレーボールはここでも熱心に練習している。

（公民館長 長崎久）

食糧不足の時代には上の岱の草刈場を開こんし三十haも陸稲畑であつたが、揚水ができず捨ててしまつた。現在この水田は大体三十haである。ここのお宮は農業の守護神、熊野神社である。

屋敷の地名が残っている。昔、秋田氏の配下で米内沢の殿様の領地であつたので、川向いの浅利氏の領地、妹尾館とは生活様式でちがう点がある。藩政から明治の行政になる時は二十八戸と登記されている。その数は昭和の初めまで大体変らなかつたが戦後二・三男の分家が増え現在のようになつた。



わたしのおとうさん

わたしのおとうさんは、朝早くとおくはなわへしごとに、行きま
す。おとうさんは、どうろをなお
すしごとをしています。
よるおそくかえるので、みんな
しんばいしています。おとうさん
はわたしたちとあまりあそんでく
れないので、あそんでほしいとお
います。



綴子小2年
ちちぶきょう子

おとうさんのすきなところは、
つくえをかってくれたりするとこ
ろです。
それをもっとつづけてください。



末広町千葉 久雄 (45)

国際児童年に あたってー

世界の
子供に愛
の手を、
この世
の中に、
子供たち
の幸せを願わない親、社会があろ
うはずがない。子孫を受け継ぎ、
次代を担う世界の子供の幸せを築
く努力が人類永遠の悲願である。
しかし、この機会にもう一度、
人間が行った歴史的事実の中で、

子供たちへの大きな犠牲と反面人
間性回復への足跡を冷静に受けと
めようではありませんか。「国連
児童権利宣言」はこうした背景か
ら生まれたものと思われまふ。
また、これを身近に考えると、
習慣がそうさせるものか、嘘偽り
のない自分の姿を我が子にみいだ
し、ほつとする時、いろいろな反
省がなされます。
思いやりのある日常生活は、道
理にかなった習慣の積み重ねは、
自然とのふれあい、環境作りは、
など、大人が手本を示すべきこと
がらを含め、地域と「番星子供
会」のことも考えてみました。
子供たちが自主的に決めた、挨
拶運動のこと、おじいちゃん、お

ばあちゃんを含めた地域ぐるみの
行事のことなど、明るく、助け合
える町内でありたいと。
そして、この夏休み大館少年自
然の家で、能代、大館の子供たち
と一緒に学習させたとき、小さい
手で蒲団を敷き、整理し、御飯を
運ぶ楽しい中にも規律ある生活と
自然の中でのびのびと学ぶ姿から
子供たちへの信頼が何よりも大切
であること、自覚と責任はこうし
て育つことを。そして、協同生活
の中で自分をみいださせてやる
努力を、親の会で一層考えよう。
それには、各自の経験を尊重し合
い、協力し合う我が親の会を誇り
に思い、決意を新たにしました。

みんな の広場



ひめじょん

北米原産の帰化植物。花
白。繁殖力が強く日本全国
にわたっている。

(南小・阿部達雄先生)

広報のしおり

健康

さわやかな季節の
到来とともに、食欲
の方も旺盛になってきます。とこ
ろが、食べるには食べても出るも
のが出ないというのはなんともし

りきれないことです。便秘は「病
気でない病気」だともいわれてい
ます。旅をしたり、突然に生活環
境が変わったりすると、その時だ
け便秘する人がいます。そういう
のは一過性便秘といって、ふつう
の生活に戻るか、変化に慣れてし
まうとケロリと治ってしまうから
です。

排便は毎朝一回が標準となつて
いますが、二、三日に一回とい
う人もいます。便秘を治すには水
を一度にたくさん飲むのも一つの方
法ですが、排便をがまんしないこ
とが秘訣のようです。「したいと
感じたときが出しどき」ですから
感じたら臆くうがらずに出すよう
に心がけることだそうです。

わが サークル

＝鷹巣民謡研究会＝

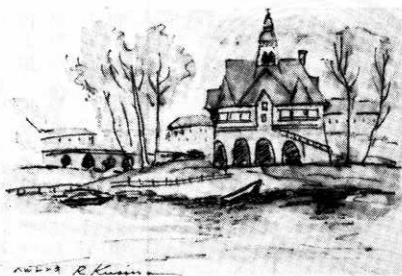
ツ、藤島竹水、また津軽民謡の講
師を招く等、基本を大切に、
着々と技能を習得しています。
民謡、並びに尺八、三味線愛好
者は、老若男女を問わずに奮つて
参加し、生涯教育に励まれ、スト
レスを解消して、健康管理に邁進
しています。

(紹介者 藤島茂治)

桜木町・小笠原孤舟さんの呼び
かけで、嶺脇新一さん、三沢藤江
さんらと力を併せて昭和三十四年
十月に発足し、会員は三十名前後
で二十年の歳月が過ぎた今日、発
展的に成長して民謡全国大会(東
京)に参加する等、その活動は飛
躍しています。
また、老人ホームの慰問、歳末
たすけあい運動等、社会福祉活動
にも積極的貢献し、民族文化遺
産の伝承と併せて努力しています。
現在の稽古は、毎週火曜日午後
七時・駅前大栄商事二階を会場と
して、尺八、三味線の同好会も参
集しています。指導には、志渡テ



おしらせ



一線美術会会員 九島繁二氏

九月の健康相談

成人健康相談は、二十六日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、十七日です。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、沐浴指導と分娩後の注意について。時間は、午前十時から十一時まで。

※場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

乳児健康相談は、二十日・二十五

出かせぎ選考会のお知らせ

本年も秋冬期出かせぎの時期になりましたが、出かせぎを希望される方は、職安紹介により安全な職場へ就労できるよう下記により選考会を実施します。

ぜひこの機会を利用し、就労先を決められますようおすすめします。

記

日時 10月2日(火) 午後1時から3時まで
場所 鷹巣公民館 ホール
参加 東京、神奈川、埼玉、千葉、愛知、静岡、大阪、兵庫の建設・製造・その他の産業の事業所

鷹巣町出かせぎ相談所
大館職安鷹巣出張所

県民手帳予約受付

昭和五十五年用秋田県民手帳の予約を受け付けています。

手帳は、携帯便利なポケット版。内容は、日記編、統計編(県、市町村の主要統計など)、名簿編(国

四年五月生まれとなっています。受付時間は、午後零時半から一時まで。

離乳食実習指導は、二十日・五十四年二月生まれとなっています。受付時間は、午前九時半から一時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所で

技能検定試験

秋田県技能検定協会では、五十四年度後期技能検定試験を行います。

受付期間は、十月八日から十月十九日までとなっています。

▽実施職種 農業機械整備、建築大工、配管、鉄筋組立て、和裁、建築製図、機械製図、構造物現図、菓子製造、防水施工、ガラ

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽芳志に深く感謝いたします。▽摩当 高橋甚五郎さんから亡母ヒテさんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽大堤 三沢厳雄さんから亡母トメさんの香典返し

一五、〇〇〇円

▽太平町 河田誠二さんから亡父孝一さんの香典返し

三〇、〇〇〇円(鷹巣小学校のことばの教室へ指定寄付)

▽新田中 三沢健一さんから亡父源蔵さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽福住町 木村家司美さんから亡父勝治さんの香典返し

五〇、〇〇〇円

▽坊沢羽立 佐藤東太郎さんから亡母カツエさんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽西仲通り 寺田勇治さんから亡母ヤエさんの香典返し
二〇、〇〇〇円



8月16日・8月31日

誕生おめでとうございます。

藤田由香里(清) 長女 相善町
中島 咲子(信咲) 長女 脇神
佐藤 羊悦(豊吉) 長男 摩当
小笠原 勝(昇) 二男 綴子大町
中林真由美(典久) 二女 新田中
木村 洋子(健治) 長女 舟場
金沢 千尋(俊英) 長男 新田中
成田 幸司(優) 二男 四渡
佐藤 衛(力雄) 長女 東住吉町
堀内 光彦(貢) 長男 新田中
加賀 博(昇) 二男 李岱
佐藤 勇樹(勇治) 長男 横瀨
藤島 明美(勝政) 二女 下町
成田 進一(正吾) 長男 新田中
佐藤 了介(嘉忠) 二男 あけぼの
高橋 信弥(正信) 長男 北新町
赤石 圭裕(裕二) 長男 掛泥
村上真由子(久昭) 二女 掛泥

おくやみ申しあげます

木村 勝治(71歳) 福住町
成田 レイ(38歳) 今泉
武田 忠一(60歳) 三ノ渡
永井 ハツ(78歳) 坊沢上町
中島 ハツ(92歳) 舟場
加藤 キサ(61歳) 舟見町